

リビングキット

設置説明書

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書もあわせてご覧ください。

リビングキットとは

リビングキットとは、ナビゲーション本体のブレインユニット（ハードディスク内蔵）を取り出し、ご自宅のテレビやAV機器、パソコンに接続することでナビゲーション機能やミュージックサーバー機能の一部をご利用いただくためのキットです。リビングキット（以下、本機）は専用のリモコンで操作します。

インターネット接続について

本機をインターネットに接続すると、通信機能とエニーミュージックのサービスをご利用頂けます。詳しくは、『ホームネットワークのご案内』をご覧ください。操作については、通信機能は『ナビゲーションブック』、エニーミュージックについては『オーディオブック』と『エニーミュージックサービス利用ガイド』をご覧ください。

- ・インターネットに接続するには、弊社指定のUSB LANアダプターを使用して、インターネットに接続可能なネットワークに接続します。
- ・弊社指定以外の機器やUSB 無線LANアダプター、USB DSL モデムなどはご使用になれません。また、ISDN回線による接続は動作保証いたしません。
- ・インターネットに接続するには、最初に「通信設定」が必要な場合があります。
→『ナビゲーションブック』－「通信設定」

パソコンとの接続について

ブレインユニットとパソコンを市販のUSBケーブルで接続すると、PCリンクソフトを使って音楽データをブレインユニットに転送することなどができるようになります。詳しくは、『ホームネットワークのご案内』をご覧ください。

日時データについて

ブレインユニットは、取り出したまま24時間以上放置するとブレインユニットに記憶されている日時データが失われることがあります。日時データがない場合は一部の機能がご利用いただけません。その場合は、次の方法で日時データの取得を行ってください。

- インターネットに接続可能な場合
通信による日時データの取得 →『ナビゲーションブック』－「日時の設定を行う」
- インターネットに接続できない場合
ブレインユニットを車のナビゲーションに装着して一度ナビゲーションの電源を入れてください。
※本機にブレインユニットを装着しておけば、本機の電源がOFFの状態でも日時データは保持されます。但し、本機にACアダプターを接続して常に電源を供給しておく必要があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2007

<KAMZF> <07D00000> <CRA4030-A>

安全上のご注意

別添えの『安全上のご注意』も併せてご覧ください。

警告

【使用方法】

通気孔などから本機内部に異物を入れない

- 本機の通気孔などから、内部に水や異物を入れないでください。また、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。発煙・発火・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。

分解や改造をしない

- 本機を分解したり、改造しないでください。事故・発火・感電の原因となります。

ACアダプターは付属のものを使用する

- ACアダプターは、必ず製品に付属するものを使用してください。市販されているものには、異なる電圧のものなどがあり、故障や火災の原因となることがあります。また、直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。

本機を使用できるのは日本国内のみです

- 本機は、日本国内でしか使用できません。付属のACアダプターは、AC 100V以外のコンセントに接続しないでください。

電源コードの取り扱い

- コードを無理に曲げたり、加工したり、上に重いものをのせたり、加熱したりしないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

【異常時の処置】

故障や異常のまま使用しない

- 正常に動作しない、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なにおいがするなど、故障や異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

注意

【接続・取り付け・設置】

高温多湿な場所では使用しない

- 直射日光の当たる場所および高温・多湿な場所では使用しないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障、ケースの変形、内部電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

冷却ファンや通風孔をふさがない

- 本機の冷却ファンや通風孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障、ケースの変形、誤動作の原因となることがあります。

【使用方法】

指定場所以外では使用しない

- 本機を家庭用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。

長時間使用しないときはプラグを抜く

- 安全のため、長時間使用しないときはプラグをコンセントから抜いてください。また、ブレインユニットは本機から取り出し、ナビゲーション本体に装着しておいてください。

電源コードを熱器具に近づけない

- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

ご使用上の注意

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

【取り扱い上のご注意】

- ブレインユニット（HDD内蔵）は非常に精密な機器です。衝撃や振動を与えないでください。ブレインユニットの取り扱いについては『スタートブック』をご覧ください。
- 電源が入った状態で周辺機器と接続したり、電源を切った直後に本機を移動しないでください。周辺機器と接続するときや場所を移動するときは、本機の電源を切り、本機の電源ランプおよびブレインユニットのHDDランプが消えた後に電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- プラグをコンセントから抜く場合は、必ず本機の電源をOFFにしてから行ってください。
- 日時データ保持のため、本機にブレインユニットを差し込んでいるときはプラグをコンセントに差ししておいてください（本機の電源スイッチがOFFでも保持されます）。
- メモリーデバイスへ書き込み中や読み出し中は、電源を切ったり、メモリーデバイスを取り外さないでください。本機またはメモリーデバイスの記憶データが破損するおそれがあります。
- 雷が鳴っているときは、プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビやラジオをつけると、画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は、本機の電源を切るか、本機をテレビやラジオから離して設置してください。
- オプション（別売品）や、市販品のケーブルなどをご使用になる場合は、その取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。他社製の周辺機器につきましては、弊社で動作を保証するものではありません。

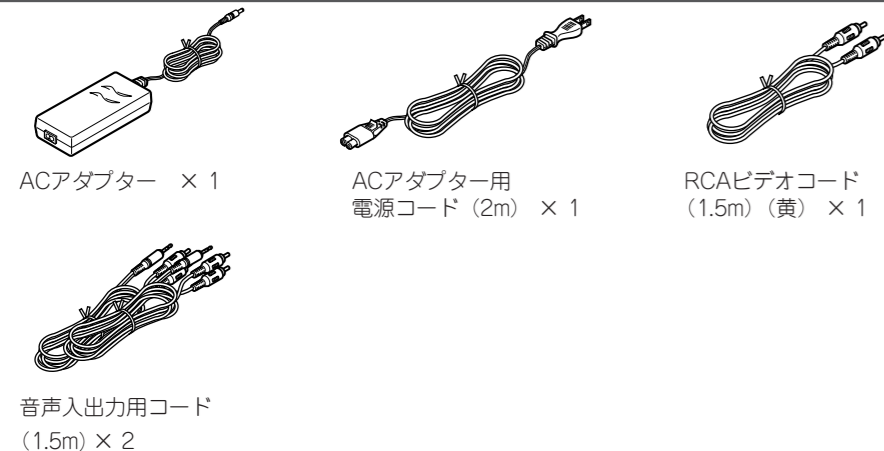
※何らかの不具合やHDDの故障による録音内容の損失、それに付随した直接・間接的な損害につきましては当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承願います。

接続・取り付け部品を確認する

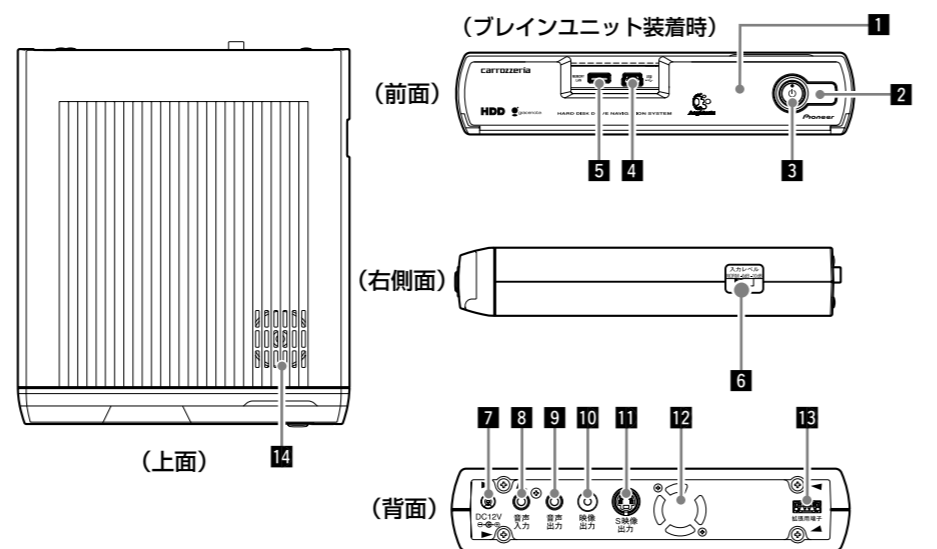
本体関係



コード関係



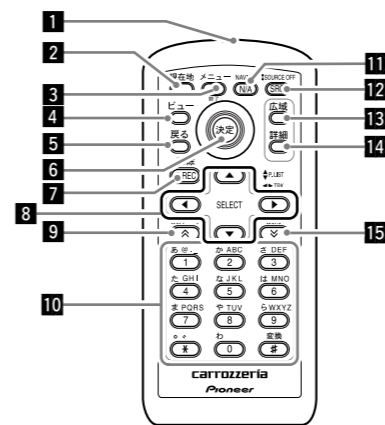
接続端子のなまえと働き



- フロントパネル**
プレーンユニットを出し入れするときに開きます。
- リモコン受光部**
リモコンをこの部分に向けて操作します。
- 電源スイッチ/電源ランプ**
電源をON、OFFします。電源をONにすると電源ランプが点灯します。
- 拡張用端子B (パソコン用USB2.0相当)**
パソコンと接続するときに使用します。
- 拡張用端子A (MEMORY/LAN用USB2.0相当)**
メモリーデバイスや、弊社指定のUSB LANアダプター*を接続するときに使用します。背面の拡張用端子Aと同じ種類のデバイスは同時に接続できません。
- 入力レベル切り替えスイッチ**
入力レベルを切り替えます。本機でアナログ録音した音声の再生時に、ひずみが感じられたときは、入力レベルを下げて再度録音してください。
- 電源入力**
付属のACアダプターを接続します。
- 音声入力**
アナログ録音する音声を入力します。
- 音声出力**
ミュージックサーバーやエニーミュージックの音声が出力されます。
- 映像出力 (黄)**
本機の映像が出力されます。(コンポジット映像出力)
- S映像出力**
本機の映像が出力されます。(S映像出力)
- 冷却ファン**
本機を冷却します。塞がないようご注意ください。
- 拡張用端子A (MEMORY/LAN用USB1.1相当)**
メモリーデバイスや、弊社指定のUSB LANアダプター*が接続できます。この端子に接続したときは、前面の拡張用端子Aへ接続した場合に比べて転送スピードが遅くなります。また、前面の拡張用端子Aと同じ種類のデバイスは同時に接続できません。
- スピーカー**
操作音およびガイド音声が出力されます。

※ 弊社指定のUSB LANアダプターについては、別紙「ホームネットワークのご案内」または弊社ホームページ (<http://carrozzeria.jp/support/>) をご覧ください。

リモコンのなまえと働き



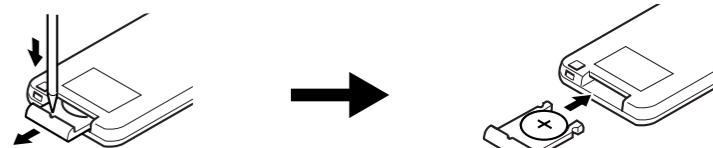
- リモコン送信部**
ここからリモコンの信号が送られます。
- 現在地ボタン**
ナビゲーションを現在地 (最終測位地) 表示に切り替えます。
- メニューボタン**
ナビゲーション操作時は、メニューを表示します。オーディオ操作時は、AVメニューを表示します。メニュー表示中はメニューを終了します。
- ビューボタン**
ナビゲーション操作時は、地図表示のビュー切り替えメニューを表示します。長く押しと地図設定メニューを表示します。サイドマップ付きのリスト画面表示時は、地図と詳細情報の表示を切り替えます。オーディオ操作時は、ソースプレートやリストの表示/非表示を切り替えます。
- 戻るボタン**
ひとつ前の画面に戻るときに使用します。
- ジョイスティック/決定ボタン**
項目の決定などに使用します。
- 録音/削除ボタン**
接続した外部機器の音声を録音したり、入力した文字を削除するときに使用します。
- ▲/▼/◀/▶ ボタン**
ミュージックサーバーのプレイリストや曲の操作を行うときに使用します。
- 別ルート ↖ ボタン**
リストのページ送りを行います。
- 10キー**
ナビゲーションの電話番号検索、文字入力などに利用します。
- NAVI/AVボタン**
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- SOURCEボタン**
ソースを切り替えるときに使用します。長く押しとAVソースをOFFにします。
- 13/14 広域/詳細ボタン**
ナビゲーション操作時は、地図のスケールを替えるときに使用します。
- 渋滞 ⇩ ボタン**
リストのページ送りや、渋滞予測マップを表示します。

※ 各ボタンの機能について、ミュージックサーバーは『オーディオブック』、ナビゲーションは『ナビゲーションブック』をご覧ください。

リモコンの準備と使いかた

リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池 (CR2025) を図のようにしてセットします。はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部分から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



ご注意

- リモコンを長時間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直接日光が当たっているとリモコンの操作ができないことがあります。このような場合は、日光をさえぎってからリモコン操作をしてください。

ジョイスティック/決定ボタンの使いかた

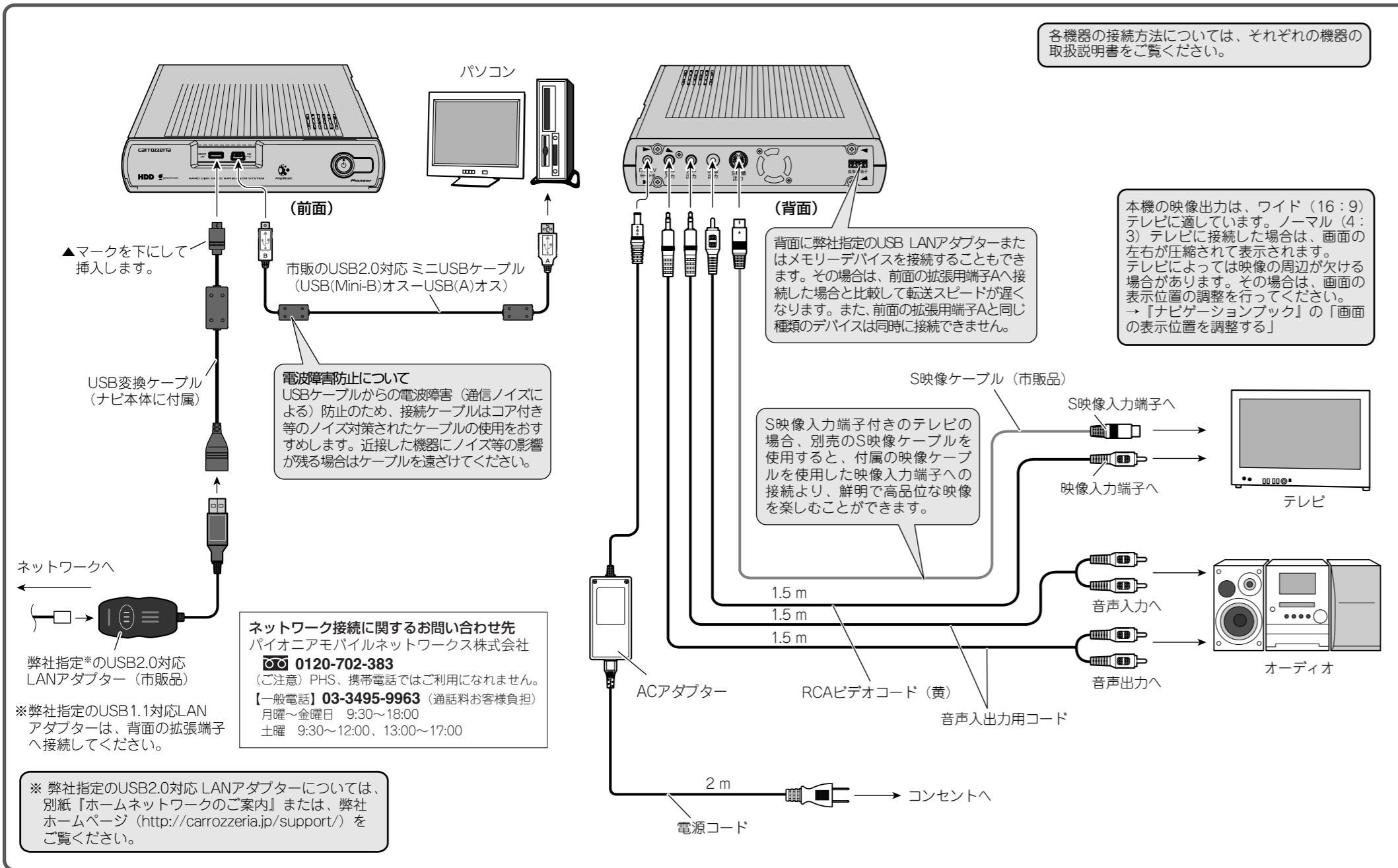
ジョイスティック/決定ボタンは、ひとつでジョイスティックと決定ボタンの2つの働きをします。

- **ジョイスティックとして使うとき**
ジョイスティックを上下・左右・斜めに傾けます。車載用リモコンのユニバーサルパッドの上下左右に触れる操作は、本リモコンでは上下左右に倒す操作に相当します。
- **決定ボタンとして使うとき**
決定ボタンを上からカチッと1回押します。この操作を、「[決定] を押す」といいます。



システム接続図

—詳しくは買い上げの販売店にお問い合わせください—



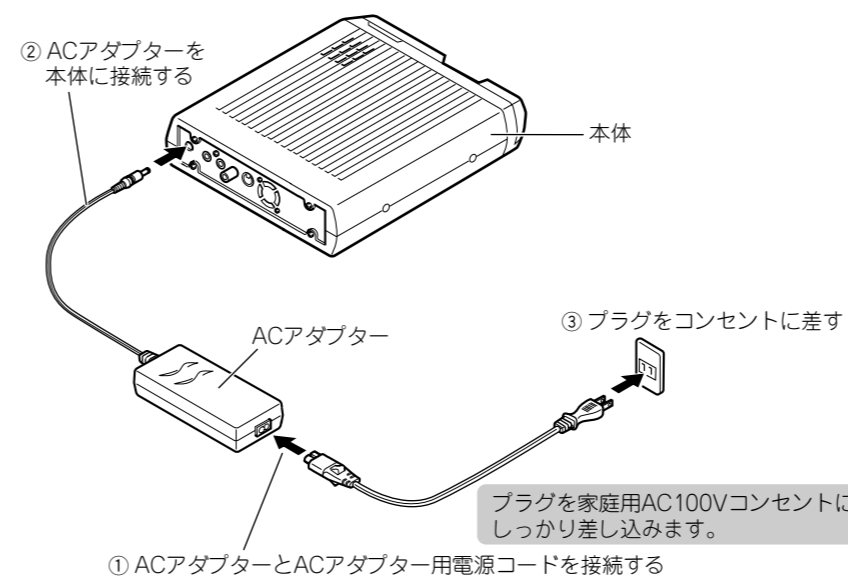
電源の接続

ご注意

- 故障を防ぐため、プラグをコンセントから抜く場合は、必ず本機の電源をOFFにしてから行ってください。
- 日時データ保持のため、本機にブレインユニットを差し込んでいるときはプラグをコンセントに差ししておいてください（本機の電源スイッチがOFFでも保持されます）。

付属の電源コードとACアダプターを使って、本体を電源に接続します。

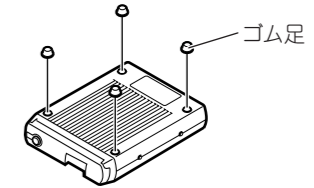
1 本体を電源に接続する



設置のしかた

本機を横置きで使用する場合

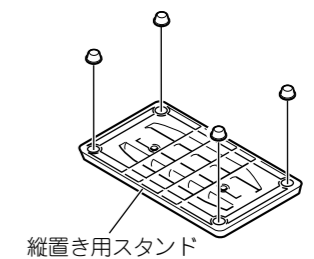
本機を横置きにして使用する場合は、付属のゴム足の平らな面のシールをはがし本機に貼り付けてください。



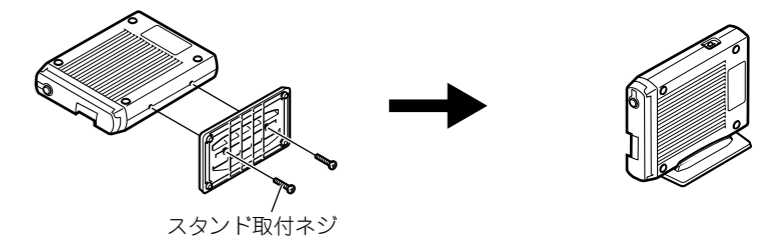
本機を縦置きで使用する場合

本機を縦置きにして使用する場合は、付属の縦置き用スタンドを使います。

1 縦置き用スタンドを裏返し、付属のゴム足の平らな面のシールをはがし貼り付けます。



2 縦置き用スタンドに取付ネジを通し、本機の横面にある穴に取り付けます。



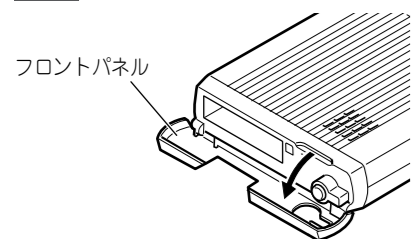
ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

ご注意

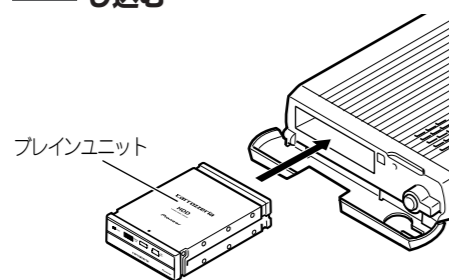
- ブレインユニットにケーブル類を差したまま持ち運ばないでください。コネクタ部に力が加わり、破損することがあります。
- ブレインユニットを持ち運ぶときは、必ず専用のキャリングケースに入れてください。そのまま持ち運ぶと落下や衝撃によりブレインユニットが破損するおそれがあります。
- ブレインユニットに急激な温度変化を与えると、結露が生じ、異常の原因となります。自然に結露がとれるまで使用しないでください。

ブレインユニットの入れかた

1 フロントパネルを手前に開く



3 ブレインユニットを奥まで差し込む



- ロゴ面を上にして、イラストの向きに差し込んでください。
- ブレインユニットがカチッとロックされるまでしっかりと差し込んでください。

4 フロントパネルを閉じる

2 キャリングケースからブレインユニットを取り出す

ご注意

- ブレインユニットを取り出すときは、先にケーブル類を抜いてください。

ブレインユニットの取り出しかた

1 本機の電源ボタンを押して、電源を切る

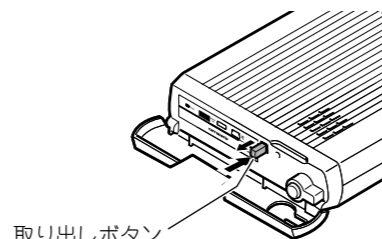
本機の電源ランプが消灯します。

注：メモリーデバイスへの保存・読み込み中に電源を切らないでください。

2 フロントパネルを手前に開く

3 ブレインユニットのPOWERインジケータの消灯を確認してから、ブレインユニット取り出しボタンを押す

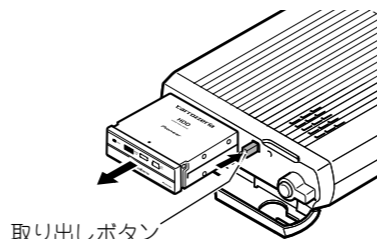
ブレインユニット取り出しボタンが手前に出てきます。



取り出しボタン

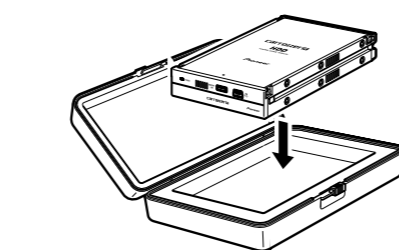
4 もう一度、ブレインユニット取り出しボタンを押す

ブレインユニットが出てきます。



取り出しボタン

5 キャリングケースにブレインユニットを入れる



6 フロントパネルを閉じる

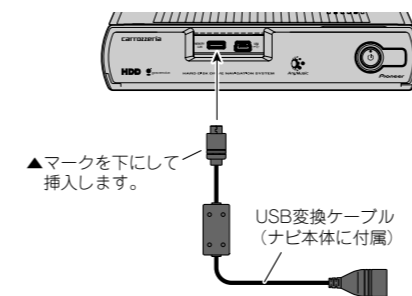
メモリーデバイスの取り付けかた・取り外しかた

ご注意

- 本機は、USBフラッシュメモリーまたはUSBハードディスク（以下メモリーデバイス）が使用可能です。
- 別電源タイプのUSBハードディスクを接続した場合、本機の電源を切る前にUSBハードディスクを先に取り外してください。
- メモリーデバイスのライトプロテクト機能やセキュリティ機能は、解除してから接続してください。
- 本機はソフトウェアによるライトプロテクト機能には対応していません。そのようなデータも上書き消去される可能性があります。
- メモリーデバイスが認識しないときは、本機の電源をOFF/ONしてください。
- メモリーデバイスを取り外すときは、「メモリーデバイス取り外し」(→次ページ)の操作を行ってください。「メモリーデバイス取り外し」の操作を行わないと、デバイスが壊れる場合があります。

メモリーデバイスの取り付けかた

1 USB変換ケーブルをブレインユニットに差し込む

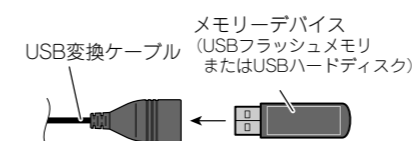


▲マークを下にして挿入します。

USB変換ケーブル
(ナビ本体に付属)

- USB変換ケーブルを奥までしっかりと差し込んでください。
- ブレインユニットの端子部分に負荷がかからないようにご注意ください。

2 メモリーデバイスをUSB変換ケーブルに差し込む



- メモリーデバイスを奥までしっかりと差し込んでください。

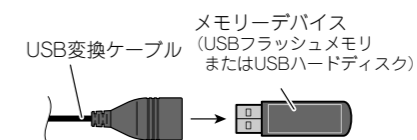
メモリーデバイスの取り外しかた

1 「N/A」ボタンを押して地図画面に切り替える

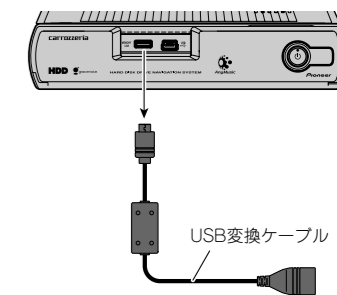
2 「メニュー」 - 編集・設定 - メモリーデバイス取り外しと操作する

「メモリーデバイスが取り外せる状態になりました。」と表示されます。
※本機の電源がOFFになっているときは、この操作をする必要はありません。

3 メモリーデバイスをUSB変換ケーブルから取り外す



4 USB変換ケーブルをブレインユニットから取り外す



- ブレインユニットの端子部分に負荷がかからないようにご注意ください。